



ウォンテッドリー株式会社

2017年8月期 決算説明



2017年8月期 実績

計画線の53%増収

- 基本プラン、オプション共に好調
- 有料企業数、平均単価の両面の伸びが貢献

利益は計画比上振れ

- Peopleへの積極投資により減益
- その他の費用は計画比でやや抑制

(百万円)	16/8期	17/8期	前年同期比	17/8期(計画)	進捗率
営業収益	840	1,290	+53.5%	1,250	103.2%
営業利益	121	64	-46.9%	5	1277.9%
(利益率)	14.4%	5.0%	-	0.4%	-
経常利益	121	59	-50.9%	5	1088.0%
(利益率)	14.4%	4.6%	-	0.4%	-
純利益	78	26	-67.0%	4	682.5%
(利益率)	9.3%	2.0%	-	0.3%	-
EPS (円)	15.84	5.68	-64.1%	0.83	684.3%

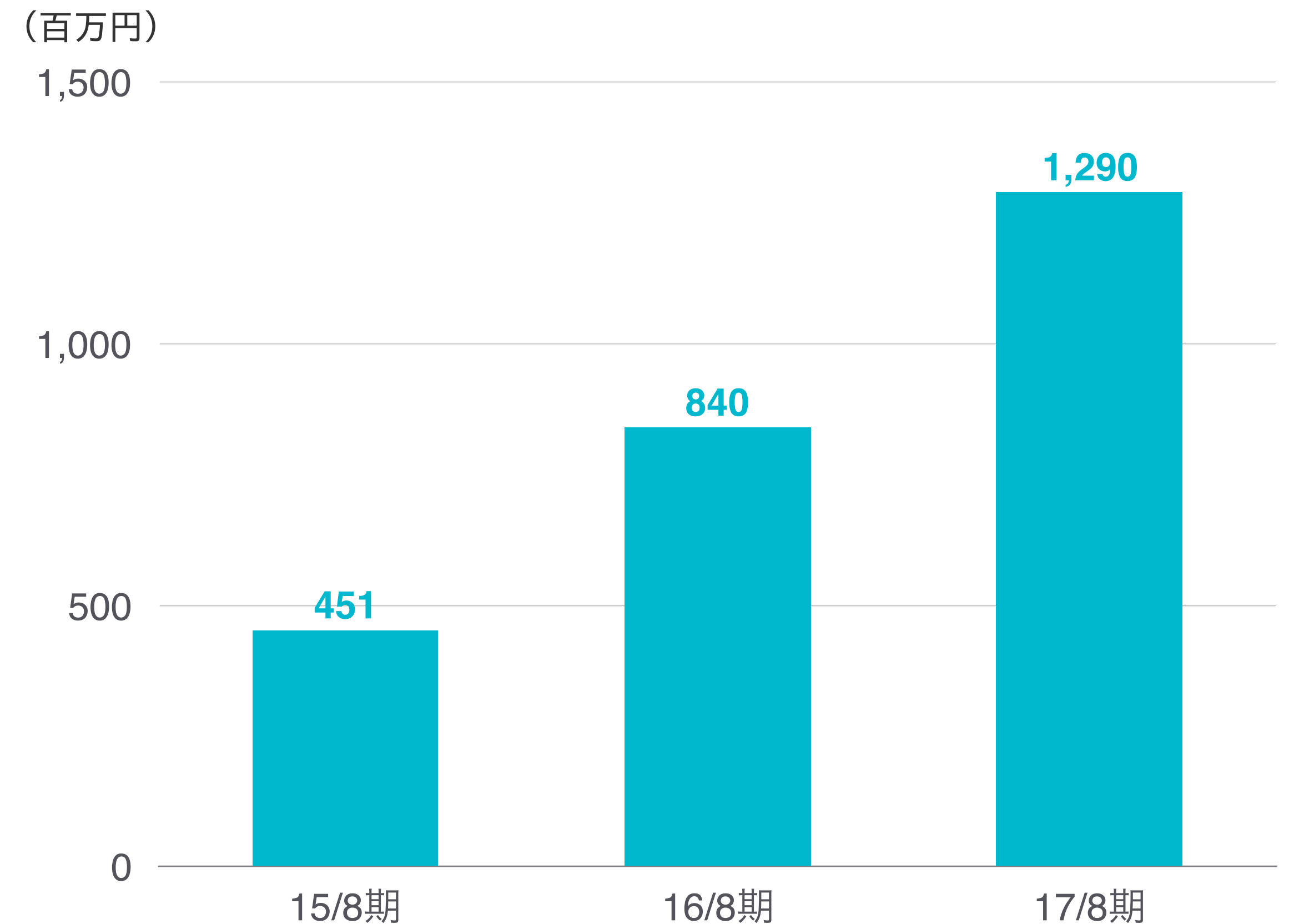
* 16/8期は単体数値、17/8期は連結数値。百万円未満は四捨五入。

* EPS=1株あたり純利益。当社は、2017年6月17日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っていますが、上記では16/8期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出した場合のEPSを記載しています。

営業収益の推移

大幅増収

- 個人ユーザ数の拡大、顧客対応の体制強化が進み、新規有料企業の伸びが加速
- 既存企業の継続率は安定推移
- スカウト中心にオプション利用の伸びにより平均単価は上昇

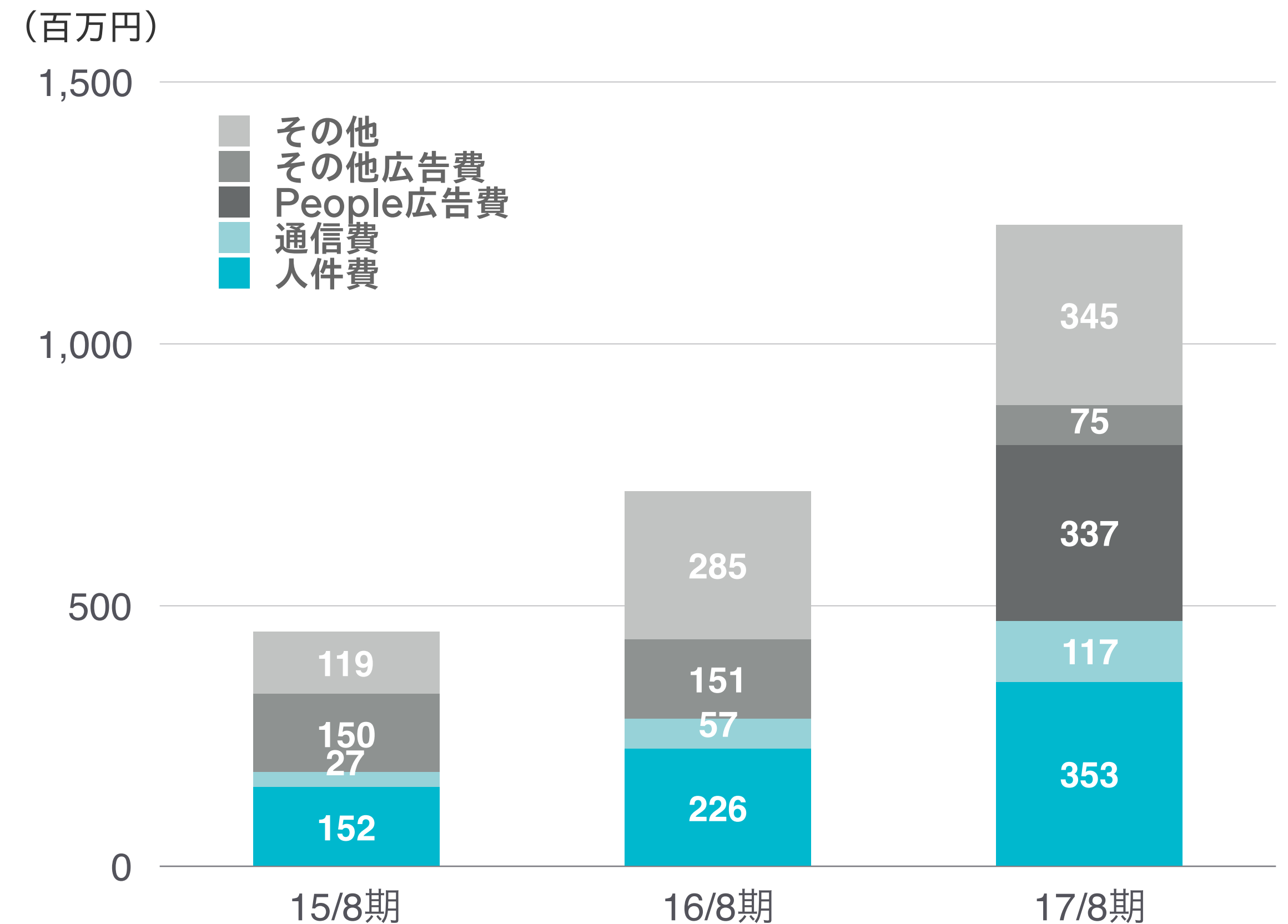


* 15/8期・16/8期は単体数値、17/8期は連結数値。百万円未満は四捨五入。

販売管理費の推移

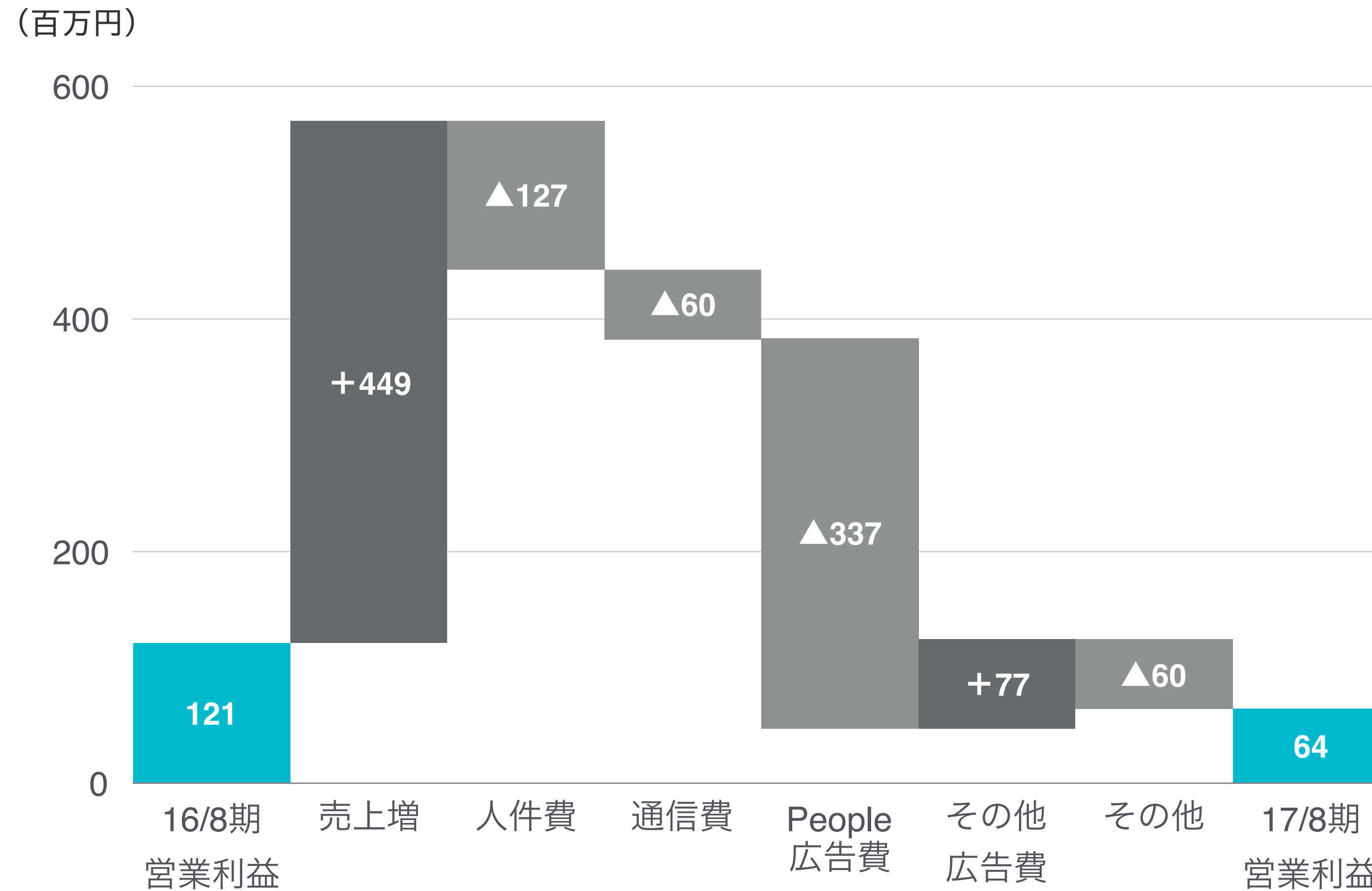
収益増の過半を広告投下

- 人件費：海外・People中心に人員拡充
- 広告費：Peopleに3.4億円を投下、その他については抑制
- 通信費：利用者数拡大に伴い増加



* 15/8期・16/8期は単体数値、17/8期は連結数値。百万円未満は四捨五入。

通期営業利益の増減分析（対 前年同期）

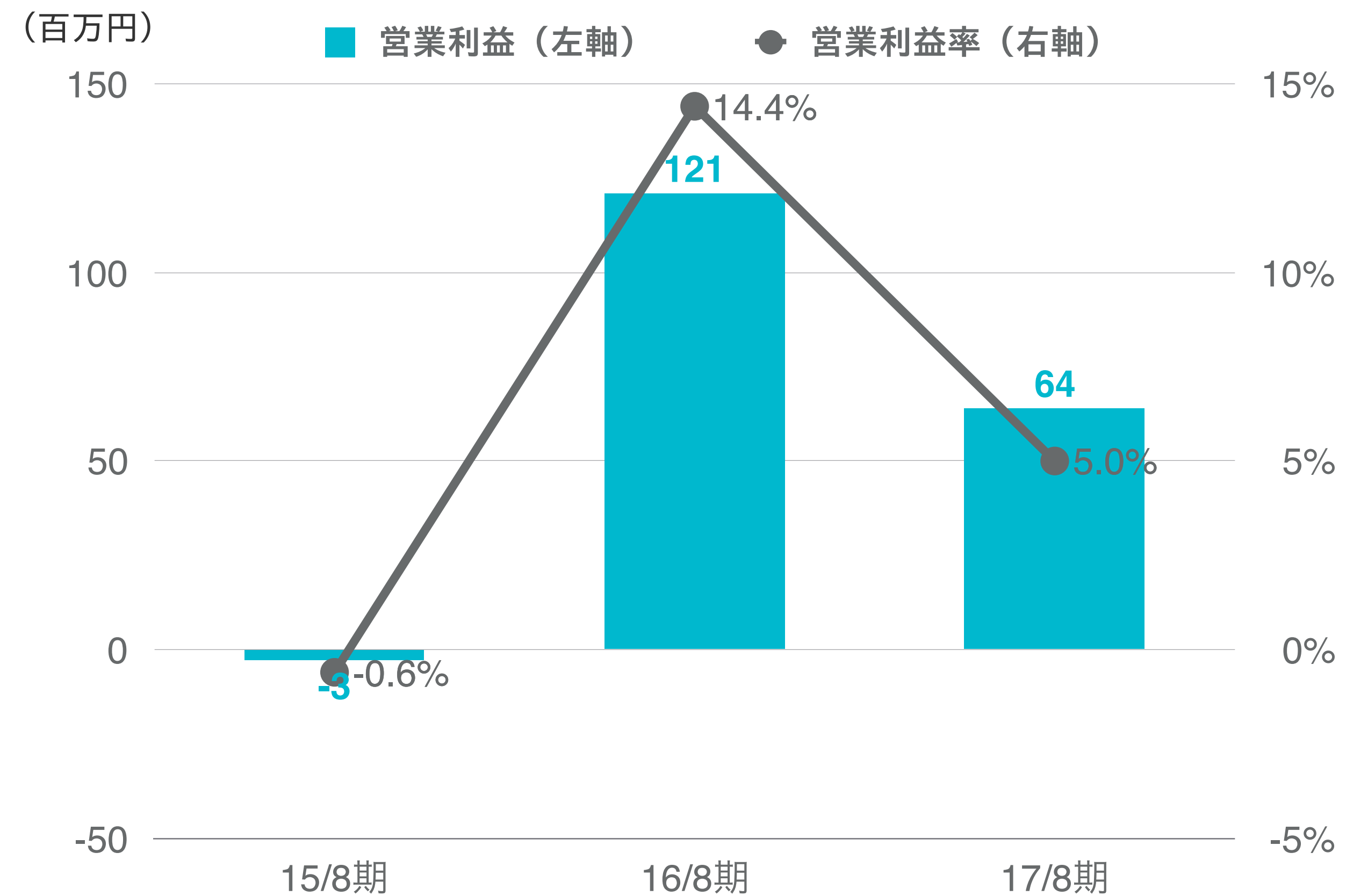


※ 16/8期の単体数値と17/8期の連結数値との比較。百万円未満は四捨五入。

営業利益の推移

戦略的投資による減益

- People広告投下（17/8期は対営業収益で26%）を除くと収益性は向上

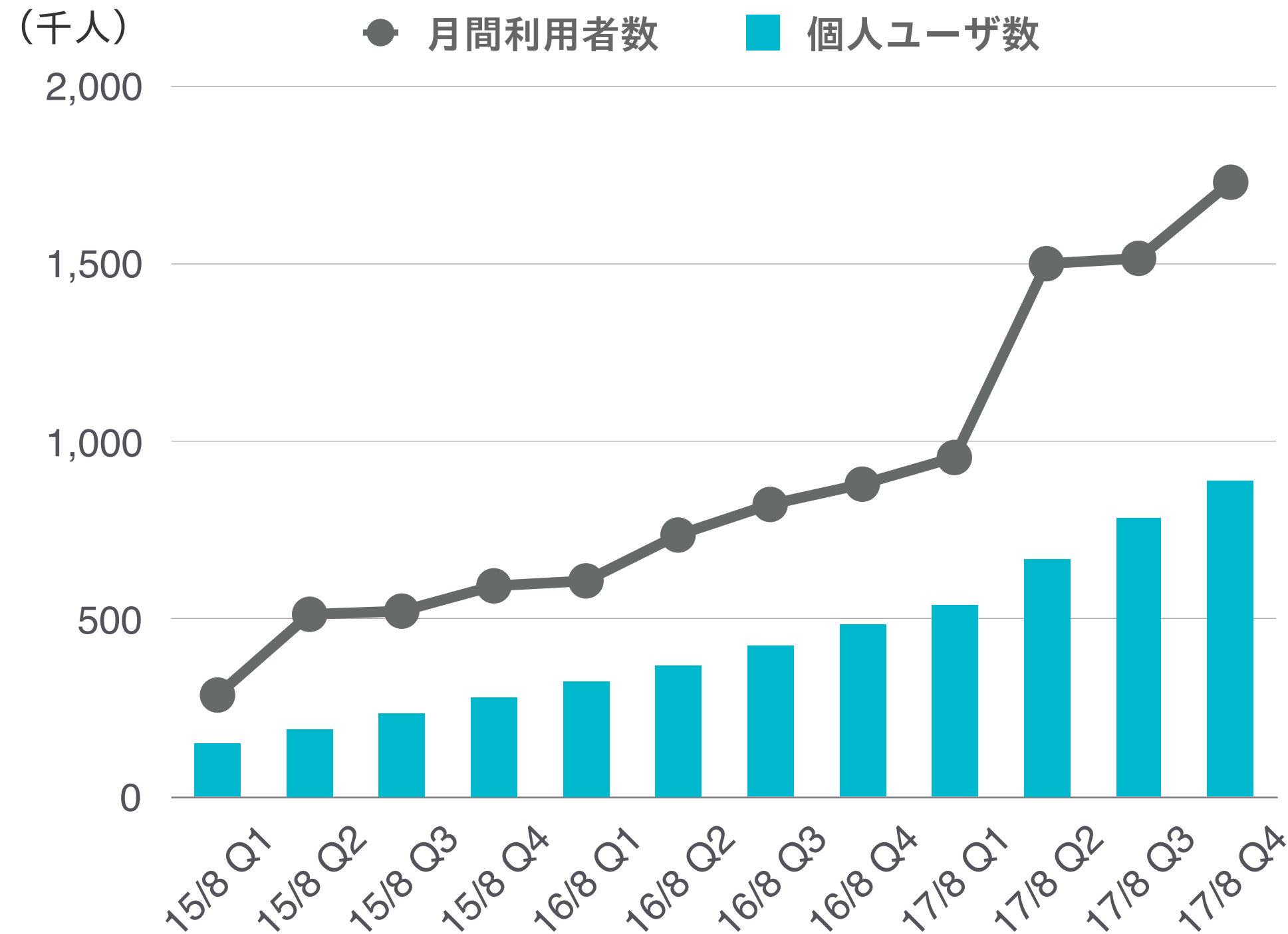


* 15/8期・16/8期は単体数値、17/8期は連結数値。百万円未満は四捨五入。

月間利用者数・個人ユーザ数・企業ユーザ数の四半期推移

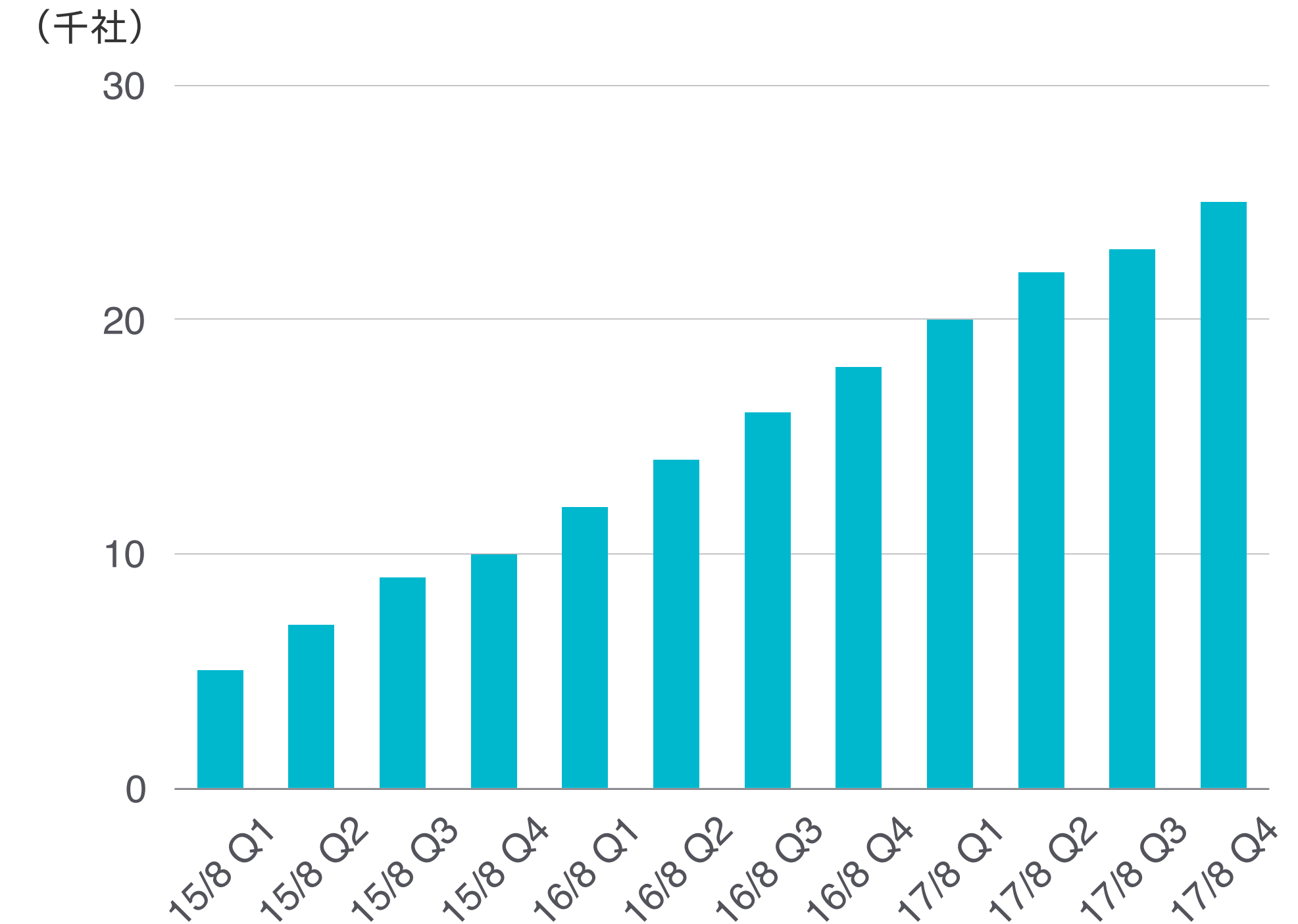
月間利用者数・個人ユーザ数

Visitの安定成長にPeopleの拡大が加わり成長加速



企業ユーザ数

着実な成長が継続





2018年8月期 会社計画

26%増収を計画

- 前期同様に、有料企業数の積み上がり及び平均単価の上昇を想定
- Peopleおよび海外事業の新規収益化は織り込んでいない

大幅増益を見込む

- Peopleへの広告投下をコントロール
- 人件費、家賃などその他の費用は増加

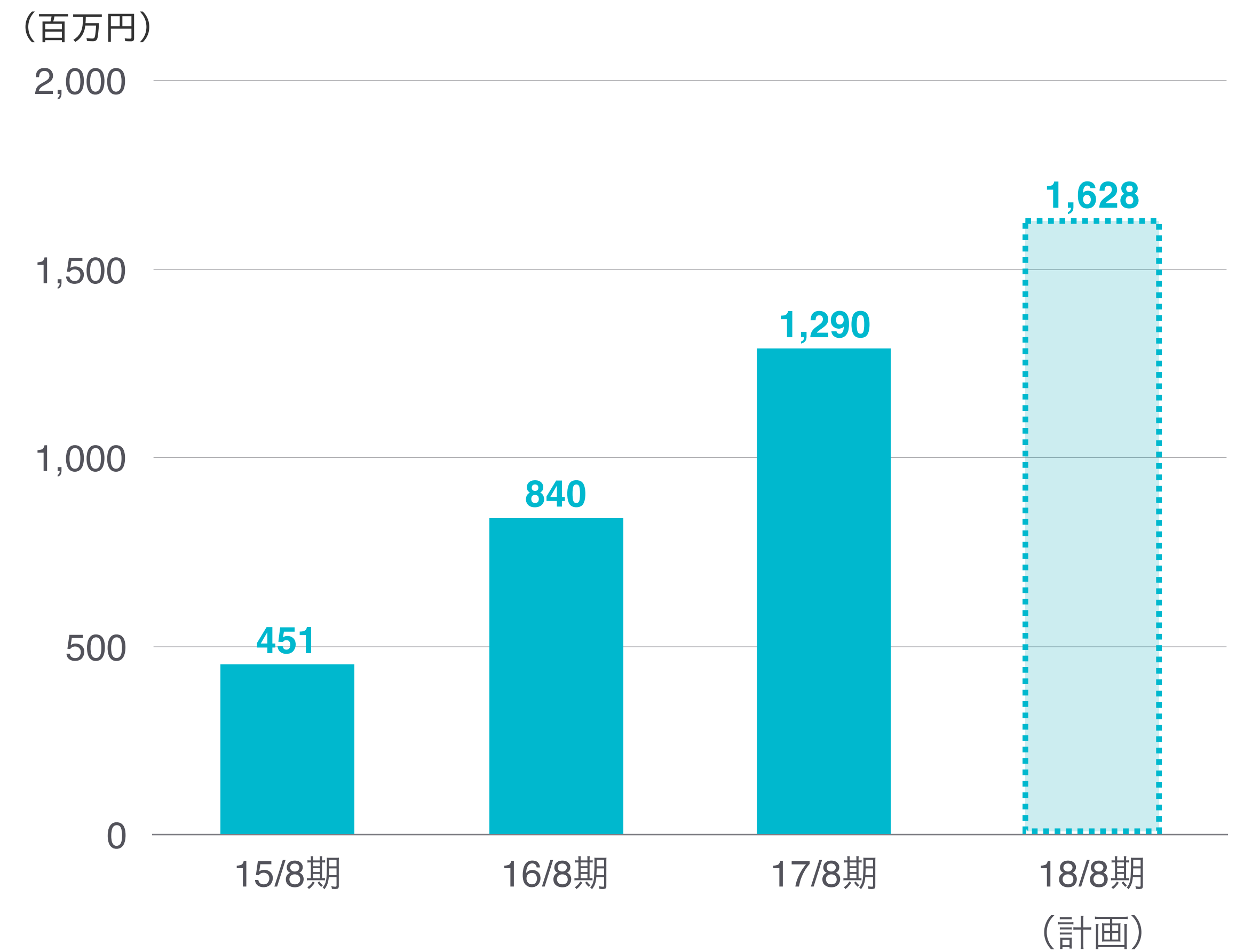
(百万円)	17/8期	18/8期 (計画)	前年 同期比
営業収益	1,290	1,628	+26.2%
営業利益	64	195	+203.7%
(利益率)	5.0%	12.0%	-
経常利益	59	195	+227.8%
(利益率)	4.6%	12.0%	-
純利益	26	134	+422.6%
(利益率)	2.0%	8.3%	-
EPS (円)	5.68	29.38	+417.3%

※ 16/8期は単体数値、17/8期は連結数値。百万円未満は四捨五入。
 ※ EPS=1株あたり純利益。当社は、2017年6月17日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っていますが、上記では17/8期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出した場合のEPSを記載しています。

営業収益の推移

着実な拡大を見込む

- 個人・企業の両ユーザ数を伸ばし、裾野を更に広げる
- 顧客対応・マーケティング体制拡充を進め、新規有料化・継続利用・アップセルを強化

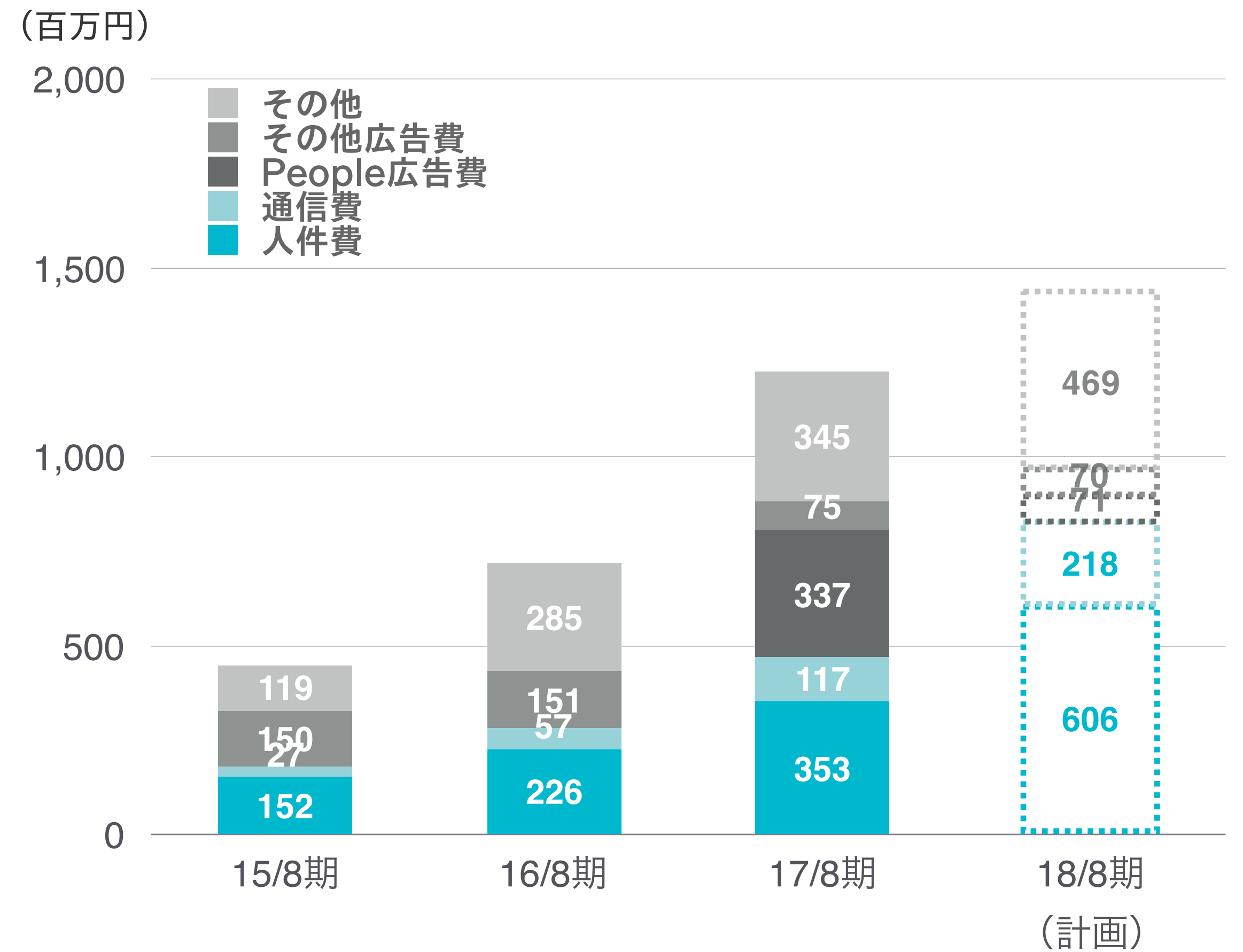


※ 15/8期・16/8期は単体数値、17/8期以降は連結数値。百万円未満は四捨五入。

販売管理費の推移

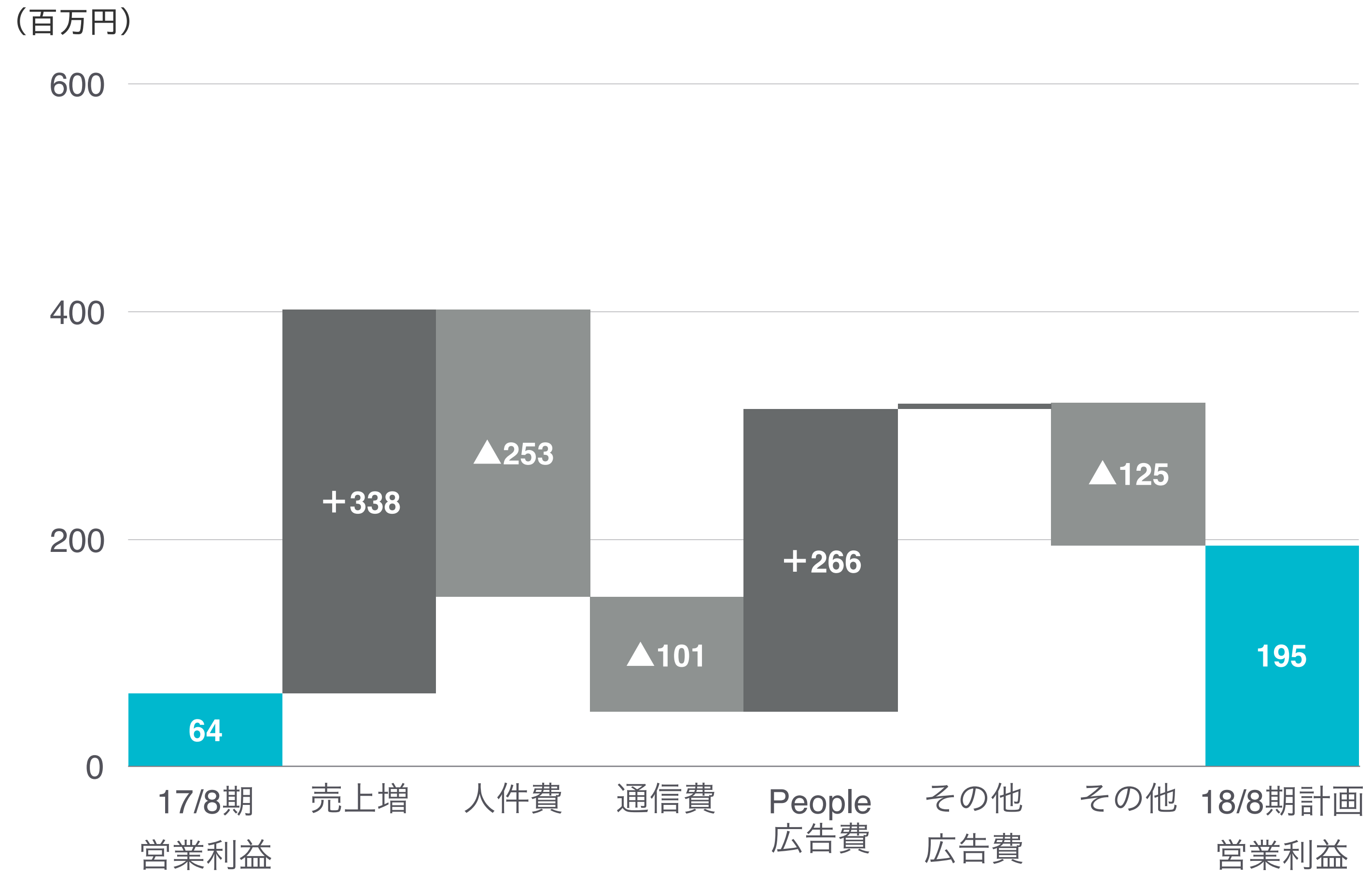
人件費中心に増加

- 人件費：全社的に人員拡充の計画
- 広告費：People広告費は調整するものの、可能な限り先行投資に振り向けていく方針
- 通信費：利用者数拡大に伴う増加を想定



※ 15/8期・16/8期は単体数値、17/8期以降は連結数値。百万円未満は四捨五入。

会社計画：通期営業利益の増減分析（対前年同期）

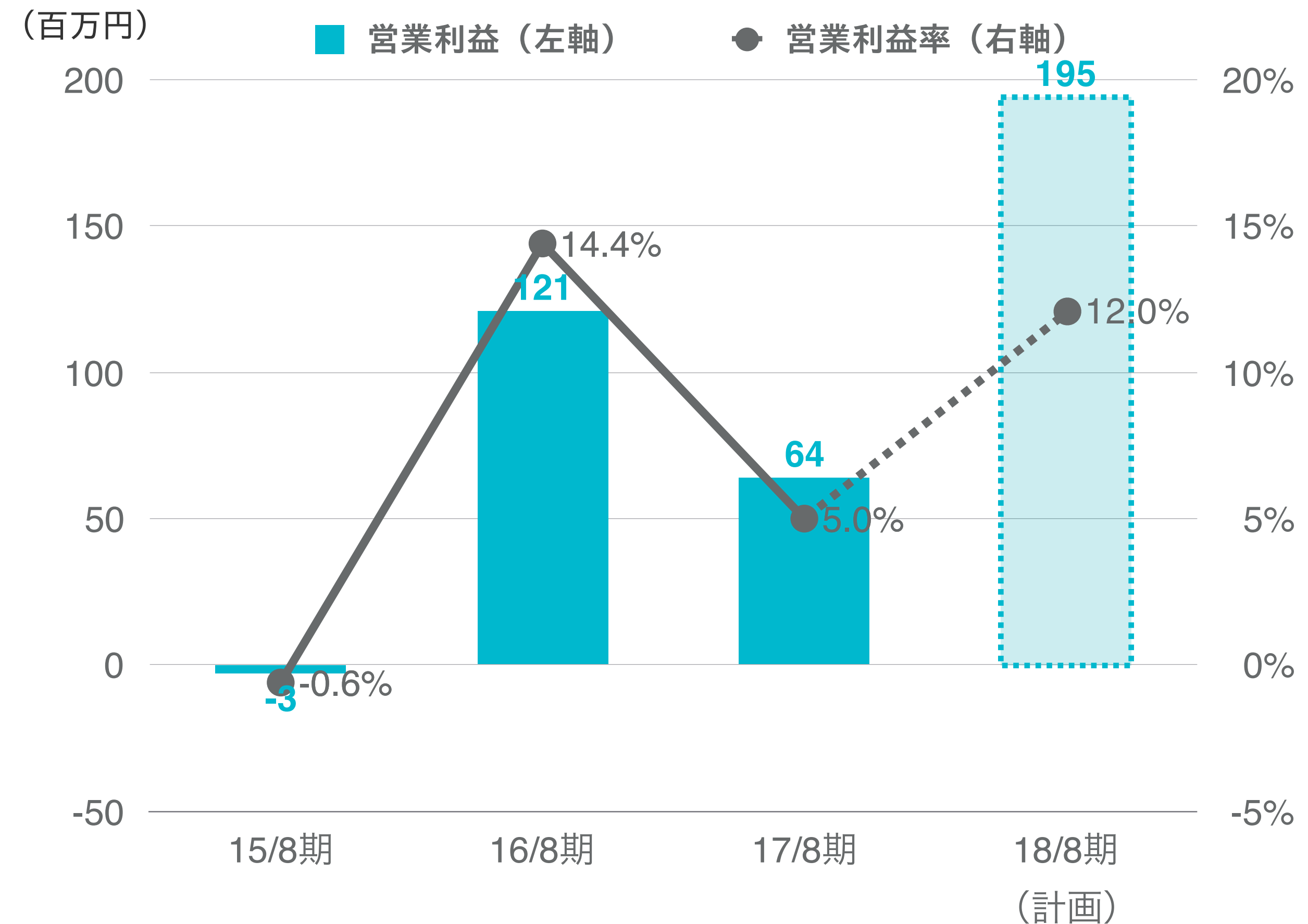


* 百万円未満は四捨五入。

会社計画：営業利益

増収に伴う利益増

- 高い限界利益率により増収が直接寄与
- 固定費増はあるが先行投資（広告投下）のコントロールにより一定の収益性を確保



※ 15/8期・16/8期は単体数値、17/8期以降は連結数値。百万円未満は四捨五入。

注意事項

本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。